

WORLD PRESS PHOTO

EXHIBITION
2021

私
た
ち
は
生
き
る

世界報道写真展 2021



世界報道写真大賞 一般ニュースの部 単写真1位
マツ・ニッセン(デンマーク、ポリティケン/パノス・ピクチャーズ)
初めての抱擁 2020年8月5日、ブラジルのサンパウロにあるヴィヴァ・ベム介護施設で、新型コロナウイルス感染防止の「ハグカーテン」越しに看護師のアドリアナ・シルヴァ・ダ・コスタ・ソウザに抱きしめられるローザ・ルジア・ルナルディ(85)。

6.12 SAT - 8.9 MON

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

展 下
示 1
室 階

TOP MUSEUM

開館時間:10:00~18:00 入館は閉館の30分前まで
休館日:毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日休館)
観覧料:一般1,000円/大学・専門学校生800円/
中高生・65歳以上600円

※小学生以下、都内在住、在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)は無料。
※チケットの変更・払い戻し、再発行はいたしません。※チケットは東京都写真美術館でお買い求めいただけます。
※諸般の事情により変更することがございます。最新情報は東京都写真美術館ホームページ等でご確認ください。

主催:世界報道写真財団、朝日新聞社 共催:公益財団法人東京都歴史文化財団東京都写真美術館 後援:オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、全日本写真連盟
協力:特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 お問い合わせ:東京都写真美術館 TEL.03-3280-0099 [公式HP] <https://www.asahi.com/event/wpph/> 世界報道写真展 2021 [公式Twitter] 世界報道写真展(@wppjapan)

世界報道写真展 2021

世界報道写真コンテストの受賞作を紹介する「世界報道写真展2021」は、世界中の50カ国、約120会場で開催される世界最大級の報道写真展です。64回目を迎える今回のコンテストには、130の国と地域から4,315人のフォトグラファーが参加し、74,470点の応募がありました。

今年は「現代社会の問題」、「一般ニュース」、「環境」、「自然」、「長期取材」、「スポーツ」、「スポットニュース」、そして「ポートレート」の全8部門で、28カ国45人の受賞が決まりました。各部門はそれぞれ「単写真(写真1枚)」と「組写真(複数の写真で構成)」に分かれています(長期取材の部を除く)。受賞者の中から、その年の最も優れた作品に対して「世界報道写真大賞」と「世界報道写真ストーリー大賞」が贈られます。今年はマズ・ニッセン氏(デンマーク、ポリティケン／パノス・ピクチャーズ)の作品「初めての抱擁」が大賞を受賞しました。コロナウイルスと闘う人間の絆と温もりを写し出した、勇気を与える1枚です。



世界報道写真ストーリー大賞

長期取材の部 組写真1位

アントニオ・ファシロンゴ (イタリア、ゲッティルポタージュ)

ハビビ

2015年5月、ナエル・アル・バルグーティの部屋は、パレスチナの都市ラマラ近郊のコパールにある彼の自宅の寝室にかかったままで、アル・バルグーティの妻イマン・ナフィは、夫の服や持ち物をそのままにしている。アル・バルグーティは、対イスラエル奇襲攻撃後の1978年に逮捕された。2011年にいったん釈放されて、イマン・ナフィと結婚したが、2014年に再逮捕され終身刑を宣告された。彼の収監期間は40年を超え、イスラエルの刑務所のパレスチナ人受刑者の中で最も長く服役している。

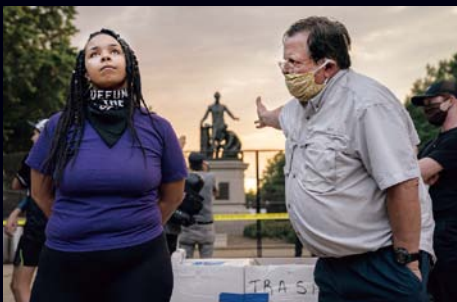


環境の部 組写真2位

シリル・ジャズベック (スロベニア、ナショナルジオグラフィックに提供)

気候変動と闘う第1歩:自分の氷河を巡る

ラダックの旧王都レー近郊のガングレスにある高さ24メートルの氷の仏塔。配水管から噴き出た水で形成される。



スポーツニュースの部 単写真1位

世界報道写真大賞ノミネート作品

イヴリン・ホックシュタイン (アメリカ)

奴隷解放記念碑論争

2020年6月25日、アメリカ・ワシントンDCのリンカーン公園で奴隷解放記念碑の撤去をめぐる意見を異にする男性と女性。



スポーツの部 単写真3位

トマシュ・マルコフスキー (ポーランド)

自転車ロードレース「ツール・ド・ポロニー」でのクラッシュ

2020年8月5日、ポーランドのカトヴィツェで行われたツール・ド・ポロニー(ツアー・オブ・ポーランド)の第1ステージにおいて、フィニッシュライン数メートル手前で同じオランダの選手ファビオ・ヤコブセンと衝突しクラッシュするディラン・フルネウエー選手(左)。



ポートレートの部 単写真1位

世界報道写真大賞ノミネート作品

オレグ・ボノマレフ (ロシア)

ジェンダー移行:イグナツ

2020年4月23日、ロシアのサンクトペテルブルクにてガールフレンドのマリアと座るトランスジェンダー男性イグナツ。



自然の部 単写真1位

アミ・ウィターレ (アメリカ、CNNに提供)

洪水した島からキリンを救出

2020年12月3日、ケニア西部バリンゴ湖で、洪水に見舞われたロンギチャロ島から特製のはしけで安全な場所に輸送されるロスチャイルドキリン(ジラファ・カメロバレダリス・ロスチルディ)。

EVENT

～人道危機の現場、そこに生きる人びとの声～

フォトグラファー 千葉康由 × 国境なき医師団

■日時:7月17日(土) 14:30~16:00

オンライントークイベント (事前申し込み制/参加無料)

右記URLより
お申込みください

<https://www.msf.or.jp/wpph2021/>

主催:朝日新聞社、国境なき医師団日本



設立50年を迎えた国際的な医療・人道援助団体「国境なき医師団」のプロジェクト・コーディネーターが、2020年の世界報道写真大賞を受賞したフォトグラファー千葉康由さんとともに、人道危機に直面する人びとについてオンライントークを行います。受賞作「Straight Voice(まっすぐな声)」の撮影背景についても伺います。

※お問い合わせ event@tokyo.msf.org

至 渋谷 JR恵比寿駅 1番出口 TOP MUSEUM

当館には専用の駐車場はございません。お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

東京都写真美術館 153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL03-3280-0099 www.topmuseum.jp JR恵比寿駅より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

GLOBAL PARTNER

PARTNERS

未来をつなぐ。未来をつくる。
THE FUTURE IS ART
Tokyo Tokyo
FESTIVAL

